

1. 長期成長ビジョン

化学品を取り扱う企業として組織の力で“パートナー”と未来をつなぐ「夢の架け橋」を目指す

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

化学品を取り扱う企業として組織の力で“パートナー”と未来をつなぐ「夢の架け橋」を目指す

- お客様の困り事「コト」の解決ができる**化学品創造企業**（商社×製造×デジタルプラットフォーム）へと進化
単なる「モノ」売りに留まらず、顧客の課題に応えるソリューション提供型企業となり、真に選ばれる専門商社を目指す

- カガクの力で日本のモノづくりを支えるTSP（テクニカルソリューションパートナー）

世界に誇る先端技術を持つ**日本のモノづくりは日本の重要な基幹産業**であり、世界中から原材料を安定的に調達し顧客供給

- 自走する組織作り**

経営戦略や経営方針に則った上で、各従業員が課題を把握し、それに取り組み、成果をあげられる組織になる

会社全体の売上成長目標（～31年）

- 売上高成長率10.4%
- 売上高増加額263億円

会社全体の賃上げ目標

- 1.2%（直近事業年度～基準年度）
- 7.0%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

- 国内化学品製造プラントの縮小や再編による**海外原料ニーズ増**
- 物流2024年問題**による物流の制約や**コスト高**に伴う固定費削減志向、慢性的な**人手不足**等の日本の社会的課題の顕在化
- 自然災害・ロシア ウクライナ紛争等**による物流の混乱と、エネルギー関連・物流・包材含むコストの高騰
- 人員削減等に伴い、仕入先が従来担っていた**物流・品質保証機能等の外部委託ニーズ増**
- 価格面のみならず、**付加価値面**も含めた顧客ニーズの増加
- 半導体や電子部品製造**の国内回帰やAI社会の到来、EV化の加速などのメガトレンド

内発的動機

- 「感謝と誇り」**を経営理念に、顧客や社員、その家族を含むパートナーから感謝され、従業員が誇れる会社となることが当社の使命
- 日本国内では自社倉庫に加え、**40カ所以上の在庫物流拠点**のネットワークを軸に、よりキメ細かな配送ができる営業体制の構築および品質管理のできる組織作りを進めてきた
- 多岐に亘る情報網と知見を活用して、中国品だけではなく、**世界中の原材料**の輸出入提案が可能なことも当社の強み
- 行田事業所の**生産・ブレンド・保管・品質管理等の機能**を活かし、パートナーである取引先の機能(技術力)を掛け合わせた、**高付加価値サービス**も拡大

2.補助事業の概要

現在建設中の津事業所に製造棟を立ち上げ、西日本エリアにおける需要への対応力を強化すると共に、物流効率化や高付加価値製品への注力、外部倉庫コスト削減による利益率向上を目指す

補助事業の
背景・目的

- 西日本エリアの需要への対応力と倉庫・製造キャパシティの限界
- 物流2024年問題に伴う物流コストや外部倉庫コストの上昇による収益性低下

事業費
(補助額)

40億円
(13億円)

設備投資の
内容

津事業所の製造棟立ち上げによる高付加価値サービスの拡充

【具体的な投資内容】

- ① 現在設立中の津事業所に製造棟を建設
「安全」「品質」「効率」を運営の柱とし、「無駄」を徹底的に排除したシンプルで効率的なオペレーションの確立
- ② 製造棟への環境に配慮した省人化システムの導入
顧客要求に合致した高いコスト競争力と高付加価値商品、ならびに品質管理を実現

【補助事業により見込まれる効果】

- 西日本エリアの取引拡大による**売上増**（30年度VC製品売上**100%増**）
- VC製品取扱増による**利益率向上**（全社粗利益率**+3%**の改善）
- 外部倉庫コスト削減（現状から約**20%の物流費削減**を見込む）



目標値

項目	2027年度 (基準年度)		2030年度 (基準年度 + 3 年後)	
	安藤パラケミー	ANPケミカルズ	安藤パラケミー	ANPケミカルズ
労働生産性 (単位：万円/人)	1,385万円/人	476万円/人	3,010万円/人 (年平均上昇率 + 29.5%)	569万円/人 (年平均上昇率 + 6.1%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	676万円/人	352万円/人	828万円/人 (年平均上昇率 + 7.0%)	431万円/人 (年平均上昇率 + 7.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	1,874万円/人	493万円/人	2,169万円/人 (年平均上昇率 + 5.0%)	571万円/人 (年平均上昇率 + 5.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	112人	38人	122人	56人